

神奈川県サービス管理責任者・児童発達支援管理責任者研修「実践研修」

事前課題 提出書

受講コース	
受講番号	
氏名	

<b>確認事項</b>	以下の確認項目の口に✓を入れ、必要事項を記載の上、所定の期日までに運営団体に提出してください。
1. 事前課題様式	
<input type="checkbox"/>	事前課題 提出書（本用紙）
<input type="checkbox"/>	事前課題①演習用事例「水道橋久さん」の100文字アセスメント
<input type="checkbox"/>	事前課題②事例検討会報告様式
<input type="checkbox"/>	事前課題③サービス担当者会議及び自立支援協議会の活用についてのまとめ
2. 事前課題の作成に当たっては職場の先輩サビ児管や上司から助言は得ることを推奨しています。作成に当たって助言を得ることはできましたか。	
<input type="checkbox"/>	助言を得て作成した。
<input type="checkbox"/>	助言を得ることが難しかった。 難しかった場合は、その理由について教えてください。 (記入欄)

### 事前課題① 演習用事例「水道橋久さん」100 文字アセスメント

私（水道橋久）は、

  
  
  
  
  
  
  
  
  
  

（            字）

※100 文字アセスメントについて

目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個別支援計画を作成する際、大切な事の 1 つとして「本人主体、本人目線」があります。</li> <li>しかし、作成をしていく段階で、知らぬ間に支援者目線や支援者主体となったり、課題克服の計画になってしまうことが起こり得ます。それを防ぐ方法として 100 文字アセスメントがあります。</li> </ul>
活用方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ご本人の想いや核心を捉え、支援の軸（本質）を定めることにつながります。</li> <li>・ニーズ整理や個別支援計画を作成する際に迷ってしまった時には、100 文字アセスメントに立ち返り考えてみます。</li> </ul>
留意点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ご本人の解決したい課題・困りごと等の「思い」を本人の視点で 100 文字程に要約、アセスメントします。</li> <li>・主語は「私」「僕」「俺」等で始めます。</li> <li>・アセスメントから知り得た情報（思い、夢、ストレングス、困りごと等）をご本人の言葉をそのまま使って作成します。</li> <li>※作成時に、本人の言葉を容易に変換してしまうと、その意味合いや想いまで変わってしまうため、本人の言葉はそのまま使います。</li> </ul>

注意：以下は、**書き方の例**であり、事前課題の事例のものではありません。

（平成 30 年度サービス管理責任者・児童発達支援管理責任者指導者養成研修の資料より抜粋）

例① ぼくは、入院して 10 年目。日常家事はうまくできないけれど、退院後はお金を自由に使ったり、人を気にせず自分のペースで生活したいので、アパートで一人暮らししたい。でも保証人もいないし……。それにどんな一人暮らしになるのかな？（108 字。精神障害、統合失調症のある方）

例② 私は、病院や施設に入らずに自宅で介助者のサポートを受けながら生活していきたい。でもこのままだと夫の体調やお金の負担も心配。だれか私を介助してくれる人が来てくれないかしら……。 （87 字。身体障害、肢体不自由のある方）

## 事前課題② 事例検討会報告様式

**注：水道橋久さんの事例は使わない事。なるべくご自身で知っている実際の事例を使って作成してください。**

◎ 記載にあたっては「説明資料」を熟読の上、作成してください。演習日に、説明資料に記載の部数をご用意ください。

(運営提出・自分用：各1部、グループ配布用：5部 計7部) ◎A4：1枚以上にならないように記入をお願いします。

受講者番号：

受講者氏名：

仮名：	年齢：	性別 <input type="checkbox"/> 男性 <input type="checkbox"/> 女性
障害及び疾患名：		
家族構成（ジェノグラム）*手書き可	エコマップ *手書き可	
提出理由（支援者自身が困っていること）		
本人の生活に対するイメージ 本人の言葉や行動		
経過と現状（概要）		
ス ト レ ン グ ス	性格・人柄/個人特性	才能・素質
	環境のストレス	興味・関心/向上心

### 事前課題③

## サービス担当者会議と（自立支援）協議会の活用についてのまとめ

◎この課題は、あなたが基礎研修修了後の業務での経験や、調べたことを元に記述してください。上司や先輩の指導の元にOJTとして行う事を推奨いたします。

（注）個人情報等守秘義務がある情報、特定が可能な情報を記載することがないよう、十分に気を付けてください。

◎説明資料に記載の部数をご用意ください。（運営提出・自分用：各1部、グループ配布用：5部 計7部）

### 1. 関係機関との連携について

あなたの所属する事業所あるいは自身の業務の中で、どのような関係機関とどのような連携をしていますか？これまでにどんな連携がありましたか？

\* 関係機関の例：他の障害福祉サービス事業所、学校、保育所、療育相談、子育て支援センター、児童相談所、教育相談、行政、生活相談、ボランティア、ご近所、自治会、企業、ハローワーク、介護事業所、医療機関、後見人、司法機関など

例) 親御さんと相談支援専門員を交え、定期的に学校と利用児の様子について情報共有をしている。

例) 地域の自治会に参加し、ゴミ捨て場の掃除当番や防災訓練を利用者とともにしている。

自事業所の関係機関との連携について十分でないと感じている部分があれば、その課題点や連携をするうえでの助言・アドバイスが欲しい点を記述してください。

## 2. 相談支援専門員との連携について

あなた、あるいは自事業所において相談支援専門員との連携はありますか？

「連携している」場合は、□に①としてその内容を、「連携していない」のであれば②としてその理由や助言が欲しい点（例・参考）を記述してください。

例) 小規模事業所で利用者が少ないうえ、その利用者もセルフプランであるため。

例) 本当は受診同行で情報共有をお願いしたいが、相談員が忙しそうで話を持ちかけにくい。


## 3. 担当者会議の開催依頼

自事業所において「サービス担当者会議」が開催されていますか？

- ① 自事業所で開催されていて、自分も参加したことがある
- ② 自事業所で開催されていることは知っているが、自分は参加したことがない
- ③ 自事業所で開催されていない

①②に該当する方は、どんな時に、誰からの発信で開催され、どんなメンバーで、どのような成果があったか、を報告してください。③に該当する方は、なぜ開催されていないと思うか、開催されない理由を考え、今後のために必要な助言・アドバイスを欲しい点を記述してください。


#### 4. 自立支援協議会と地域生活支援拠点等

あなたの事業所が所在する地域（市町村または区）の自立支援協議会の構成や活動内容についてと、地域生活支援拠点等の仕組みと整備状況について調べて報告してください。

（報告のために市町村の資料などを活用しても構いません）

自立支援協議会や地域生活支援拠点等を調べたうえで、今後のあなたのサビ児管業務でどのように活用できるかを考えて記述してください。

**受講者名：**

**受講番号：**

**法人名／事業所名：**

〔作成にあたり助言を受けた職場の役職〕（先輩サビ児管、課長職等）